

♪ 2022年度 **poco a poco** ♪

Nr. 8 2022年7月4日(月)

文責:プファイル・辰巳

今週はミニコンサート ♪

7月になりました。1学期も残すところ2週間
余りとなりました。そして木曜日は1学期ミニ
コンサートの日を迎えます。コロナ禍以前と同じ
ようにはいきませんが、何はともあれ開催でき
ることを嬉しく思います。演奏する人も、聴く人も
共に素敵な時間を分け合えるといいですね。



ミニコンサート 進行予想時刻

小学部1年生	14:30 スタート
2年生	14:40ごろから
3年生	15:00ごろから
4年生	15:10ごろから
5年生	15:20ごろから
6年生	15:30ごろから
中学部	15:45ごろから

あくまでも予想時刻ですので、
時間のズレはご容赦ください。

お願い

- ・以前のミニコンサートとは異なっている点がありますので、今一度「ぽこあぽこ第7号」でご確認ください。
- ・会場への出入りは速やかにお願いたします。
- ・音楽室の前半分は児童生徒席、保護者席は後方とさせていただきます。
- ・演奏終了後は速やかに下校してください。清掃作業もありますので、ご協力お願いします。

音楽こぼれ話 <その時、作曲家は・・・ ⑦ モーリス・ラヴェル

管弦楽の魔術師の名曲「ボレロ」>

モーリス・ラヴェルは、フランスの作曲家です。1875年にスペインとの国境に近いバスク地方に生まれました。音楽好きのお父さんに励まされ、幼少期からピアノを学び、後にパリ音楽院で作曲法を学びました。

20世紀初頭、充実した作曲および演奏活動を行っていたラヴェルでしたが、第1次世界大戦勃発以降は最愛の母を失うという不幸も相まって、急激に創作活動が低調になります。

そんな中、1928年にラヴェルは初めてアメリカに渡り、4ヶ月におよび演奏旅行を敢行します。この演奏旅行は大成功を収め、ニューヨークでは満員の聴衆からスタンディングオベーションを受け、ラヴェルの名前は世界中に知られることになります。

このアメリカ旅行から帰国し、ラヴェルが作曲に取り組んだ曲が名曲「ボレロ」です。バレエ・ダンサーからの依頼を受け、1928年7月から作曲を始めました。ボレロは元々スペインの踊りの名前でした。ギターとタンブリン、カステネットといういかにもスペインらしい楽器の伴奏に乗って、軽やかにステップが踏まれる3拍子の踊りです。

ラヴェルはこの3拍子のリズムを終始小太鼓に演奏させ、その上に2つのメロディをピアノツシモから始めて、フォルティシモまで曲全体を一つのクレッシェンドの中に収めるという着想で、作曲を始めました。フルートに始まり、次々に演奏する楽器が増えていく中、バレエの動きも盛り上がっていきます。

このようにラヴェルは、オーケストレーションに非常に優れた才能を持っていました。他の作曲家の作品、例えばムソルグスキーのピアノ曲「展覧会の絵」を素晴らしいオーケストラ・バージョンに編曲したことで知られています。そのため、ラヴェルは「管弦楽の魔術師」とも呼ばれています。

こうして名曲「ボレロ」は完成し、バレエ曲としてだけではなくオーケストラの名曲として、現在では世界中で愛されるようになりました。残念ながらこの頃から軽い言語障害などに悩まされていたラヴェルは、この後ほんの数曲しか作曲できないまま、長患いの後、1937年、62歳で世を去ります。「ボレロ」はラヴェルの作曲家としての最後の輝きを凝縮したような珠玉の作品と言えそうですね。

